

ロシア・ウクライナの歴史と文化を考える



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

2022年2月24日、ロシア軍によるウクライナへの侵攻が開始され、現地では今なお戦闘行為が続いています。これに対し、九州大学では3月3日付総長メッセージにて、「今回の侵攻による如何なる影響も、本学に所属する研究者及び留学生に及ばないよう最善の努力をする」ことが表明されました。また5月12日には「九州大学によるウクライナの学生・研究者への支援プログラム」がスタートし、学生（主に大学院生を想定）を研究生（非正規生）として、また研究者を訪問研究員等、各部署における研究員（無給）として受入れる支援が始まっています。

しかし、ロシアとウクライナの関係がいかなるプロセスを経て構築されてきたのか、またそのような過去がいかなる形で「記憶」されてきたのかを、われわれはまだ十分に理解しているとは言えません。そしてこの歴史を理解することは、現状を中・長期的視座から捉え、またウクライナの学生・研究者への支援を円滑に進めるうえで不可欠といえます。

そこで今回のシンポジウムでは、ロシア・ウクライナの宗教と文化を研究されている高橋沙奈美氏を講演者としてお招きし、この戦争のイデオロギー的背景となっている「ロシア世界」について検討しながら、ウクライナが歴史的に「ロシア世界」とどのように関わってきたのかを、正教会を軸に論じていただきます。さらにロシアの近現代史が専門の金山浩司氏、左近幸村氏をディスカッサントにお招きする形で、ロシア・ウクライナの歴史と文化について考えてみたいと思います。

2022

9.20 火
15:00-18:00

学内者限定／ハイブリッド開催

場所：E-C-203 会議室／zoom

講師

高橋沙奈美 九州大学 人間環境学研究院 講師

ディスカッサント

金山 浩司 九州大学 基幹教育院 准教授

左近 幸村 九州大学 経済学研究院 准教授

司会・聞き手

今井 宏昌 九州大学 人文科学研究院 准教授

国分 航士 九州大学 人文科学研究院 講師



九州大学
人文系協働研究・教育コモンズ

[主催／お問合わせ]

九州大学 人文系協働研究・教育コモンズ

Email: enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp

[共催]

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 (Q-AOS) 文化変動クラスター